



平成 28 年 10 月 31 日

各 位

会社名 富士興産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 金丸 勇一
 (コード番号 5009 東証一部)
 問合せ先 取締役執行役員経理部長 松崎 博文
 (TEL. 03-6859-2050)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表した平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の業績予想値と、本日公表の第 2 四半期累計期間の実績値において下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,500	100	150	100	11.44
実績値 (B)	17,438	130	181	114	13.13
増減額 (B-A)	△1,061	30	31	14	
増減率 (%)	△5.7	30.5	20.9	14.7	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	24,207	△89	△34	△52	△6.06

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,500	50	200	150	17.16
実績値 (B)	16,347	70	201	132	15.17
増減額 (B-A)	△1,152	20	1	△17	
増減率 (%)	△6.6	40.3	0.6	△11.6	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	23,135	△171	△30	△47	△5.40

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間におきましては、当社グループのコア事業である石油事業において、国内市況が低迷する中で、仕入コストに見合った採算販売に比重を置いた営業活動に取り組んでまいりました。この結果、売上高は、市況低迷による販売数量の減少などから計画を下回ったものの、損益面では、採算の改善や経費の削減から計画を上回る利益を計上することができました。なお、環境対策費を特別損失として計上したため、個別損益の四半期純利益は、計画を若干下回りました。

通期の業績予想につきましては、当社グループの事業は季節変動が大きく、売上高・利益ともに通期に対する第1・2四半期の占める割合が低いことから、前回公表値（平成28年5月13日公表）から修正は行っておりません。

（注）上記の予想はあくまでも本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上